

RFMD アナリストデイ・プレスリリース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



rfmd.com

AMOI ELECTRONICS社がEDGE端末にRFMD社の POLARIS™ 2 TOTAL RADIOモジュールを採用

ニューヨーク州ニューヨーク、2006年11月28日(RFMD社、アナリストデイ・イベント): 移動通信駆動用各種アプリケーション向けに高性能無線システム/ソリューションを設計、製造して業界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、中国の代表的携帯端末メーカーAmoi Electronics社向けにGSM/GPRS/EDGE端末用POLARIS™ 2 Total Radioモジュールの量産出荷を開始したと発表した。このEDGE向けPOLARIS 2 無線モジュールは、世界的に拡大中のスマートフォン市場を狙ったWindows Mobile™ ソフトウェア利用端末など、Amoi社の様々な製品ラインに使われる。

「RFMDの業界最先端を行くEDGEトランシーバ・アーキテクチャーと実績のあるインテグレーションの組み合わせが、サイズや形の問題解決と高性能化を可能にしてくれました。」とAmoiモバイル社のゼネラルマネージャ、Hongquan Xie氏は語る。「これにより各種のスタイリッシュな端末で素晴らしい機能・性能を提供できます。」

「POLARIS EDGEソリューションの増え続ける顧客リストにまた1社、最先端の携帯端末メーカーを追加できたことは、RFMD社にとってもたいへん素晴らしいことです。」とRFMD社の携帯電話製品グループ担当副社長Eric Crevistonは語る。「また、この設計が生まれたのは第一線のベースバンドメーカーとの継続的な協力関係の成果だということも特筆に値します。」

このEDGE向けPOLARIS™ 2無線モジュールは市販のEDGE無線ソリューションのうち最も小型で、使われる個別部品の数は競合他社のEDGE無線ソリューションに比べ半分で済む。さらに、送信系の構成には製品レベルで実績のある大信号ポワ変調を採用しているため送信系の消費電流は現在市販されているEDGE端末の中では最小で、これは競合するリニア系の送信構成に比べ送信時消費電力で最大約50%の節約につながる、技術的な転換を可能にしている。

RFMDについて: RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、および

システム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001 およびISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD銘柄で米ナスダックゴロバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

Amoi Electronics 社について: Amoi Electronics 社 (Amoi Electronics Company Limited) の前身は 1981 年に設立された Xiamen Solid Electronics 社で、上海証券取引所には 1997 年 6 月に上場した。本社は中国福建省の厦門 (アモイ) にある。中国の革新的な企業として発展するため、Amoi 社は多角化による 3C(通信、コンピュータ、民生機器)への事業拡大と国際化を図ってきた。現在、Amoi 社の製品ラインは 2.5G/3G 携帯電話、PHS 端末、液晶テレビ、ノート PC など広範囲にわたっている。

Amoi Electronics 社は 1,000 名以上の技術者を擁する中国国内の主要携帯電話メーカーの 1 つで、厦門、上海、南京にそれぞれ研究開発拠点を持っている。同社は市場動向に素早く反応して実用化に注力し、細分化された市場の個々の顧客満足を目指している。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェア製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###